

今すぐ使える マナーアップアドバイス



「暑中見舞い」のマナー

いよいよ暑さが本格化するこの季節、ビジネスでも「暑中見舞い」を出す方は多いと思います。

「暑中見舞い」とは、一年で最も暑さが厳しくなるこの時期に、相手の健康を気づかい、併せて自分の近況を報告する季節の挨拶状ですが、守るべきマナーがあるのをご存知でしょうか？

暑中見舞いのマナー

①期限を守って送ること

一般的には小暑から大暑の間（2015年は7月8日～8月7日）

②拝啓などの「頭語」や敬具などの「結語」は不要

③相手を気づかう挨拶を添えること

④自分が出す前に、先方からいただいた場合、その日中に返礼を添えてお送りすること

その他にも、自社の宣伝ばかりを書いたり、季節感を無視した内容にならないようにしたいものですね。

また、印刷した文面を出す場合、さらに直筆で近況を添えると印象深くなり、好感度アップにもつながりますよ。